

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
デザイン論2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	角田 光代			実務経験	有	職種	インテリアコーディネーター				
授業概要											
構造・構法、環境工学・設備など、インテリアに関わる上で理解しておくべき技術的知識を身につける。 建築・インテリアの時代的变化や技術的進歩に合わせて身につける。											
到達目標											
建築という構造物の中にインテリア空間をつくるための構造・構法と仕上げ、室内環境とそれを支える設備について知識をつけ、インテリアコーディネーターの資格取得も目指す。											
授業方法											
建物の構造・構法、建物や空間をつくる建築材料・内装材、住環境を左右する1、熱と湿気、2、換気と通風 3、音環境 4、光環境から、調和させる設備、器具まで 技術的知識を学ぶ。											
成績評価方法											
試験・課題	60%	レポート・試験・課題を総合的に評価する									
成果発表	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
各単元において、配布資料があり授業内で活用する。また、単元ごとに小テストを行い知識の定着を図る。 欠席などの理由により配布プリントを受け取れていない場合は、翌週の授業よりも前に担当教員より受取ること。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
Google classroom活用。 教科書[インテリアコーディネーター ハンドブック 総合版下]／参考資料等は、授業中に配布する。											
回数	授業計画										
第1回	【建築構造・構法①】 木造を中心に各構造の特徴を把握する										
第2回	【建築構造・構法②】 鉄骨造、RC造などその他の構造の特徴を把握する										
第3回	【建築構造・構法③】 各部材の形や組み合わせ方、建築用語、名称の意味を正確に覚える										
第4回	【内装材料①】 木質建材の理解から特徴と使用される場所の適性を見極める										
第5回	【内装材料②】 石やタイル、各種材料の特徴と使用される場所の適性を見極める										
第6回	【内装材料③】 塗料など、仕上げ方法の種類と違いを理解する										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
デザイン論2	
第7回	【環境工学と設備①】 各種指標の意味と関連する設備を理解をする ①熱と湿気、冷暖房設備、給排水設備
第8回	【環境工学と設備②】 各種指標の意味と関連する設備を理解をする ②換気と通風、空調設備
第9回	【環境工学と設備③】 各種指標の意味と関連する設備を理解をする ③音環境、吸音・遮音
第10回	【環境工学と設備④】 各種指標の意味と関連する設備を理解をする ④光環境、照明設備
第11回	【環境工学と設備⑤】 各種指標の意味に関する理解をする ⑤その他電気設備やキッチン・サニタリーの設備機器
第12回	【建築関連法規①】 各種用語の法律上の定義を理解し、定められた数値を覚える
第13回	【建築関連法規②】 法規の適用条件だけでなく、例外となる条件からの視点においても理解する
第14回	【消費者関連法規】 商品などに関する法規。特に省エネやエコロジーに関する制度について理解をする
第15回	【振り返りとまとめ】 後期単元の理解度の確認を行い、2年次インテリアコーディネーター対策の導入をスムーズにする